

公立大学法人静岡文化芸術大学 令和6年度計画 用語解説

(五十音順)

用語	解説
IR (アイ・アール)	Institutional Research。大学の経営改善や学生支援、教育の質の向上のため、学内データを収集・分析し、改善施策を立案、施策の実行・検証を行うといった広範な活動を指す。
アクティブラーニング	教員が学生に一方的に知識を教授する講義型ではなく、学生が主体的に問題を発見し、解を見出していく能動的な学習方法の総称。認知的、倫理的、社会的な能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る。アクティブラーニングを取り入れた授業は、学生参加型授業、共同学習、探求学習、能動的学習、経験型学習、問題解決学習などの名称で呼ばれ、実際の授業は、グループワーク、ディスカッション、リフレクション（自己の活動内容を振り返って評価すること）、ディベートなどにより進められる。
アセスメント・ポリシー	学生の学修成果の評価（アセスメント）について、その目的、達成すべき質的水準及び具体的実施方法などについて定めた学内の方針。
アウトソーシング	外注、外製（がいせい）ともいい、企業や行政の業務のうち専門的なものについて、それをより得意とする外部の企業等に委託すること。
アーカイブ	重要記録を有効活用するため、保存すること。
HSK (エイチエスケー)	読む・書く・聞くで構成されている中国語検定試験で、その成績証明は中国政府が公認し、世界中で公的証明として用いられている。
SDGs (エス・ディー・ジーズ)	Sustainable Development Goals。持続可能な開発目標。2015年9月の国連サミットで採択された、持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のための国際目標。
観点別評価	観点別評価とは、生徒の学習状況を規定の観点別に評価する方法で、高校では新学習指導要領の施行に伴って、2022年度に導入された。新学習指導要領で再整理された資質・能力の3つの柱「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」に沿った観点で、生徒の学習状況を評価する。
グローバル	グローバル（global：地球規模の）とローカル（local：地域的な）を合わせた言葉で、「地球規模の視野で考え、地域で行動すること」をいう。
語学パートナー	留学生と日本人学生が2人1組のペアになり、それぞれの母国語や文化を教え合うシステム。留学生の希望に応じてポータルで募集し、スケジュール等がマッチングしたら参加できる。英語、中国語、韓国語などで実績がある。
サイバーセキュリティ	デジタル化された情報の改ざんや漏えいを防ぐ手段
3ポリシー	大学の一貫性のある教育の質保証のため2017年より策定・公開することが義務付けられた、次の3つの基本方針をいう。「ディプロマ・ポリシー」学位授与方針、「カリキュラム・ポリシー」教育課程編成・実施方針、「アドミッション・ポリシー」入学者受入方針。

用語	解説
SD (スタッフ・ディベロップメント)	教員に加え事務職員や技術職員など、教職員全員を対象とした、管理運営や教育研究支援までを含めた資質向上のための組織的な取組。
ダイバーシティ	日本語で「多様性」と訳される。組織や集団において、人種や性別、宗教、価値観などが異なるさまざまな属性の人材を迎え入れ、共存しながら、それぞれが持つ能力や考えを活かす取組。
チューター制	教員による学部学生への学修面を含めた学生生活全般に関する相談及び個別指導のこと。
長期履修制度	本学においては、身体に障害がある等の事情により標準修業年限で卒業することが困難であると認められる者について、申請により入学時から起算して6年を限度として長期履修を許可する。
ティーチング・アシスタント (TA)	優秀な大学院学生に対し、教育的配慮の下に、学部学生等に対するチュータリング (助言) や演習等の教育補助業務を行わせ、大学教育の充実と大学院学生のトレーニングの機会提供を図るとともに、これに対する手当の支給により、大学院学生の処遇の改善の一助とすることを目的とした制度。
TOEIC (トイック)	Test of English for International Communication。英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストであり、世界約60ヶ国で実施されている。
BYOD (ビーワイオーディー)	個人で所有するスマートフォン・タブレット・PCなどの端末を業務等で利用することを指します。(Bring Your Own Deviceの略)
FD (ファカルティ・ディベロップメント)	教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称。具体的な例としては、教員相互の授業参観の実施、授業方法についての研究会の開催、新任教員のための研修会の開催などを挙げることができる。
フェアトレード	公平・公正な貿易。貧困のない公正な社会をつくるために、経済的・社会的に弱い立場にある途上国の生産者と強い立場にある先進国の消費者が、対等な立場で行う貿易のこと。広くは地産地消の考え方なども含む。
ふじのくに地域・大学コンソーシアム	高等教育機関相互の連携を深め、また、行政、産業界、非営利活動法人などと広範なネットワークを形成し、県内高等教育機関の教育力・研究力の一層の向上を図るとともに、それぞれの主体が一体となって、地域社会の発展に寄与していくことを目的とし、本県の大学間連携組織である「大学ネットワーク静岡」を発展的に改組し平成26年3月27日に設立。
researchmap	研究者が業績を管理・発信できるようにすることを目的とした、データベース型研究者総覧。現在、日本人または日本で研究する30万人を超える研究者が登録している。

※ 文部科学省資料、本学資料のほか、インターネットから作成